

みんなの2020調査

ファクトブック

- 2018年3月調査 -



株式会社電通

2020 プロデュースセンター

TOKYO 2020 と、その先に向けて。 世の中の人たちのホンネと期待を洗い出し。

TOKYO 2020 まで、あと 2 年。

電通 2020 プロデュースセンターでは、「みんなの 2020 調査」を、15～69 歳の男女 3000 人を対象に行いました。このファクトブックでは、その調査結果の一部をご紹介します。ぜひ、みなさまの今後の活動にご活用ください。

みなさんは、TOKYO2020 にどのようなことを期待しているのでしょうか。

「競技試合や関連イベントを通して、スポーツの興奮や熱気が感じられる」が 31.4% で、一番多い結果となりました。

特に、男性 20 代の 39.9%、女性 10 代の 35.9% は他の年代よりも高く、期待の高さを感じます。

他には、女性 60 代は「子どもたちが競技の面白さを知り、興味・関心を持つ」、「障がい者が様々な分野で活躍できる社会が実現する」という項目が、女性 60 代で高く、今後の社会に良い変化が表れるのを期待しているようです。

ちなみにエリア別に見ると、TOKYO 2020 の開催について東京都民の 39.1% が「よい変化がある」、と考えているようです。これは全国平均より、10% 以上高い結果となっています。特にどのようなことに期待しているかというと、多く選ばれたのは「人々の公共マナーが向上する」「経済活動が活性化する」「テロ対策、防犯対策が強化される」でした。

Q TOKYO 2020 にどのようなことを期待していますか？

全国



TOP1

競技試合や
関連イベントを通して、
スポーツの興奮や熱気が
感じられる

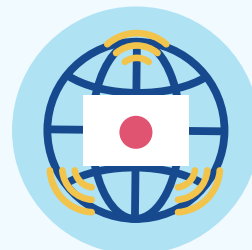
31.4%



TOP2

世界で
日本文化への
興味関心が高まる

26.6%



TOP3

日本の
おもてなし精神・価値観が
世界に発信される

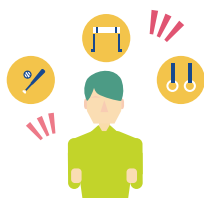
23.9%

年代別

最も期待の高い年代

男性 20 代

女性 10 代



39.9%

35.9%

東京都民

東京都民は
TOKYO 2020 に

「よい変化がある」

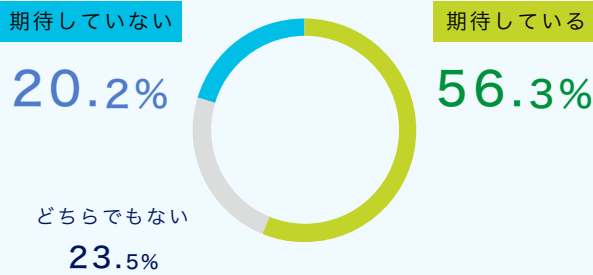
と感じている

39.1%

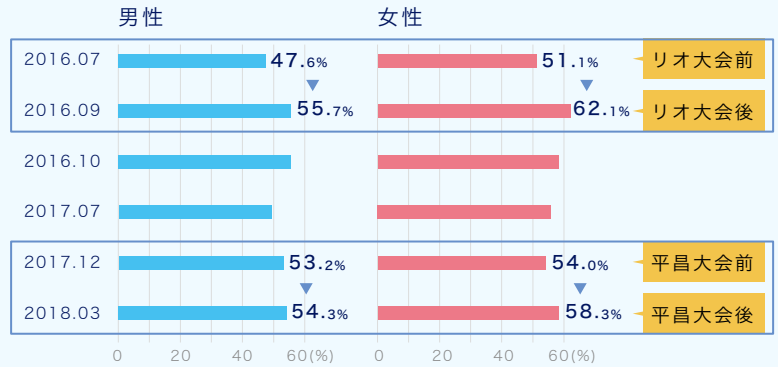


あなたはTOKYO 2020開催にどのくらい期待をしていますか？

全国



男女別



女性は、大会観戦によってTOKYO 2020への期待がより高まる傾向

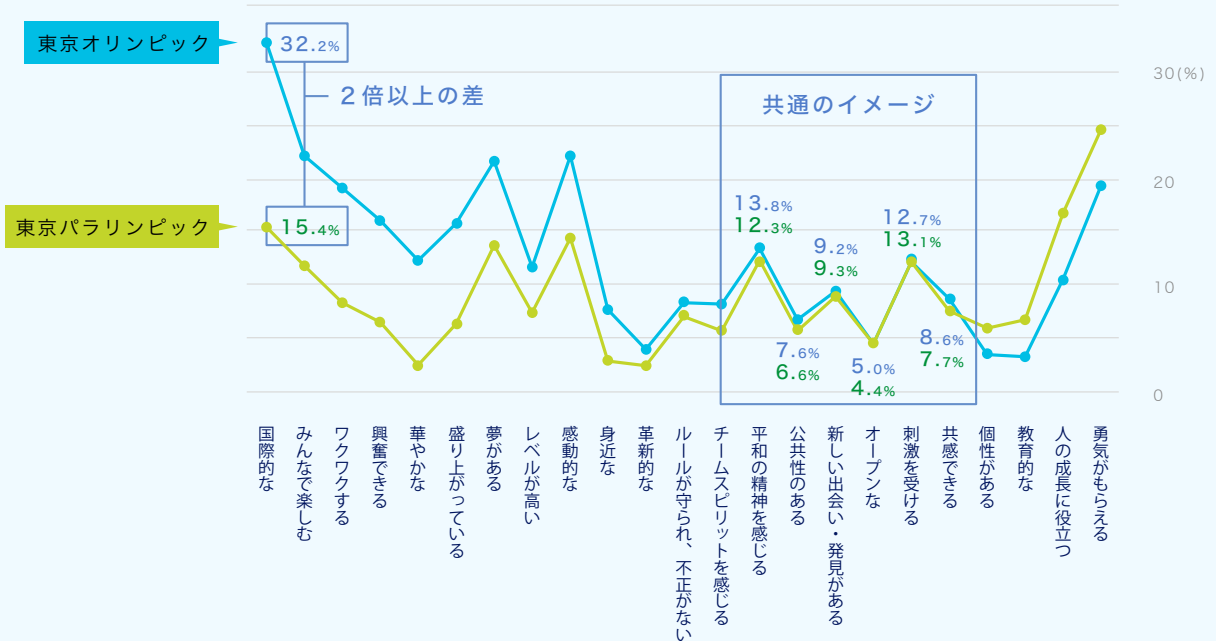
リオ大会 / 平昌大会の前後に、TOKYO 2020 への「期待」を比較してみました。

女性のスコアはリオ大会前は51.1%でしたが、大会後は62.1%まで10%以上はね上がりました。ちなみに男性では、大会前で47.6%、大会後55.7%という結果に。さらに平昌大会前後でも同じ傾向が見られました。女性は男性に比べて、大会観戦によってTOKYO 2020への関心が増す傾向にあるようです。



あなたはTOKYO 2020にどのようなイメージを持っていますか？

全国



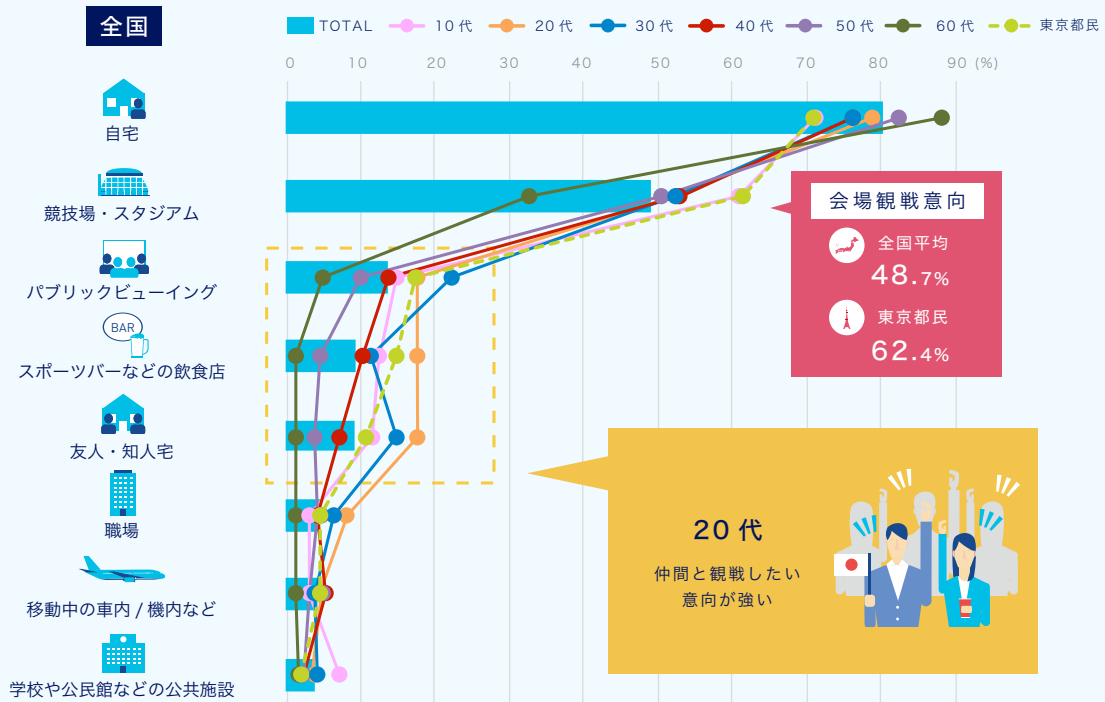
オリンピックは、国際的、みんなで楽しむ、ワクワクするなどのイメージ
 パラリンピックは、勇気がもらえる、成長につながる、教育的などのイメージを持っている

TOKYO 2020 に持つイメージに近い言葉を選んでもらったところ、オリンピックは「国際的」「みんなで楽しむ」「ワクワクする」、パラリンピックは「勇気がもらえる」「成長につながる」「教育的」という言葉に多く票が集まりました。特に大きく差が開いた言葉は「国際的」で、オリンピックで32.2%、パラリンピックで15.4%と2倍以上の差がありました。対して、「刺激を受ける」は12.7%と13.1%、「新しい出会い・発見がある」は9.2%と9.3%で、オリンピックでもパラリンピックでもほぼ同数票が集まりました。日常生活では得られない、TOKYO 2020 ならではの体験に期待している人も多いですね。

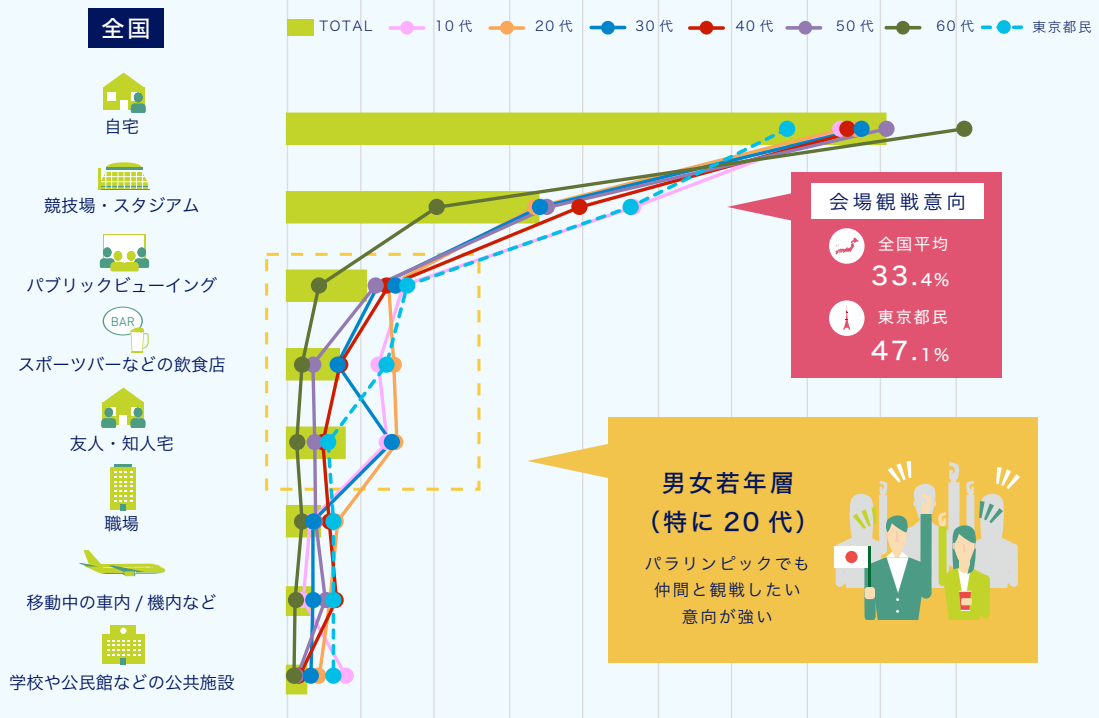


あなたはTOKYO 2020をどこで観戦したいですか？

東京オリンピック



東京パラリンピック



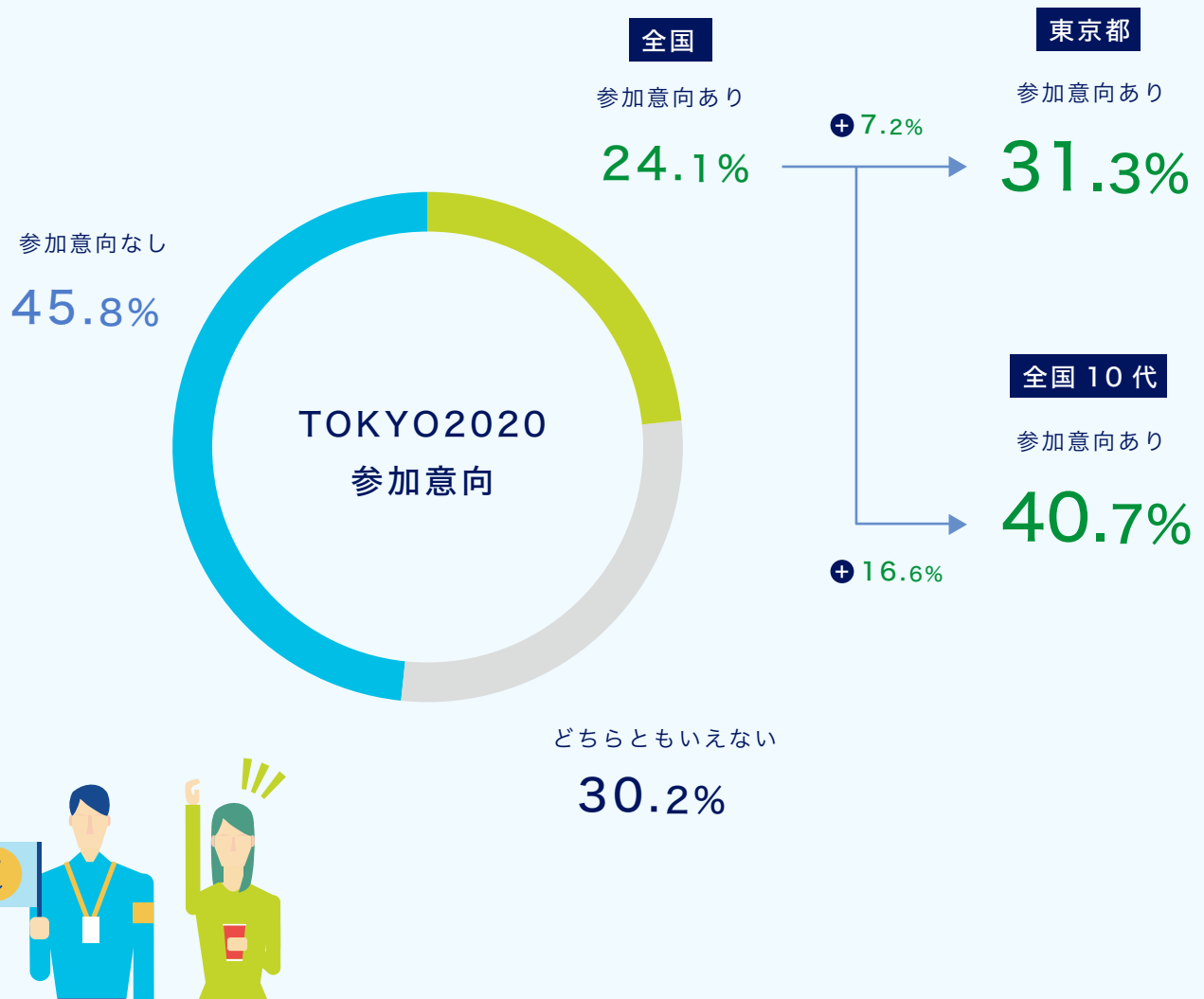
若年男性は大人数と一緒に観戦したい傾向がある

観戦場所については、オリンピックは80.2%、パラリンピックは82.2%の人が、自宅での観戦を希望しています。一方、競技場・スタジアムで観戦したいという人も、オリンピックでは、全国48.7%と、約過半数といった結果に。さらに、会場が近い東京都民の競技場・スタジアム観戦意向はオリンピックで62.4%、パラリンピックで47.1%。全国よりも、それぞれ13.7%も高い結果となりました。

ちなみにパブリックビューイングや飲食店、友人・知人宅などを一番あげていたのは、男性20代でした。若年男性は、大人数と一緒に観戦して盛り上がりたい傾向にあるようですね。



あなたは今後、「TOKYO 2020」に
何らかの形で関わりたい・参加したいと思いますか？



10代の参加意向が突出して高い

こちらでも10代といった若年層の参加意向が高い傾向にあることがわかりました。特に10代女性は40.8%もいました。全国平均24.1%と比べると、その比率がいかに多いか伝わるのではないのでしょうか？



TOKYO 2020に関する事柄について、 あなたの気持ちにあてはまるものをお知らせください。

全国

TOTAL 10代 20代 30代 40代 50代 60代

10代にとっての1位
59.3%

40代にとっての1位
41.5%

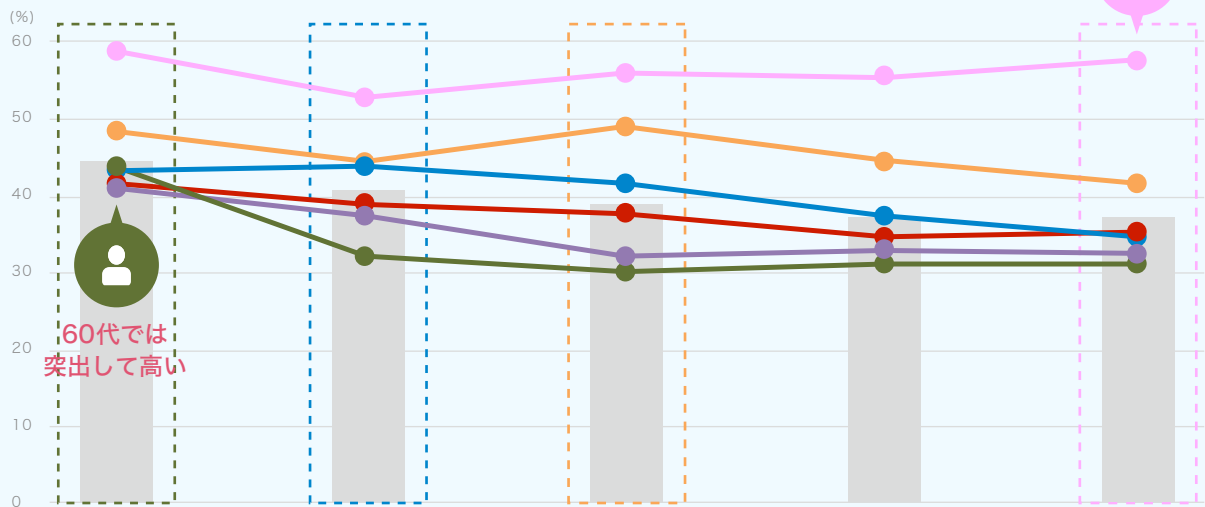
50代にとっての1位
41.1%

60代にとっての1位
43.8%

30代にとっての1位
44.1%

20代にとっての1位
49.9%

10代が
突出して高い
58.9%



2020
2020年に向けてスポーツを楽しんだり、観戦する機会が増えると思う

オリンピック・パラリンピックに関連するイベントがあれば、観覧したり、参加してみたい

BAR
大会中は、観戦チケットが無くても、家族や友人と一緒に盛り上げられる場所があれば行ってみたい

2020
2020年に向けて、自分も何か新しいことに挑戦してみたい

大会時には、世界中の色々な人々と交流したい

10代20代は数値が全体的に高く、TOKYO2020に前向き

「観戦チケットがなくても家族や友人と一緒に盛り上げられる場所があれば行ってみたい」「大会中には世界中の色々な国の人々と交流したい」などの好意的な意見がたくさんありました。大人数で一緒に盛り上げられるイベントが今後増えていくと、よりTOKYO 2020を身近に感じられるようになりそうです。

TOKYO 2020は、日本に暮らしたり、訪れたりする、あらゆる人に関係する一大イベントです。今回の調査で期待の高かった10代の若者を始め、より多くの人が何らかの形で参加・関与することで、よりよい2020年になっていくことが楽しみです。

調査方法	インターネット調査
抽出フレーム	マイティモニター
調査地域	全国
調査対象	15-69歳の男女
除外条件	マスコミ関係 / 広告関係 / 市場調査関係に従事している方を除外
回収目標数・セル設計案	3,000s ※性年代・エリアで母集団準拠回収
調査期間	2018年3月23日(金)~3月26日(月)
調査実施機関	株式会社インテージ